

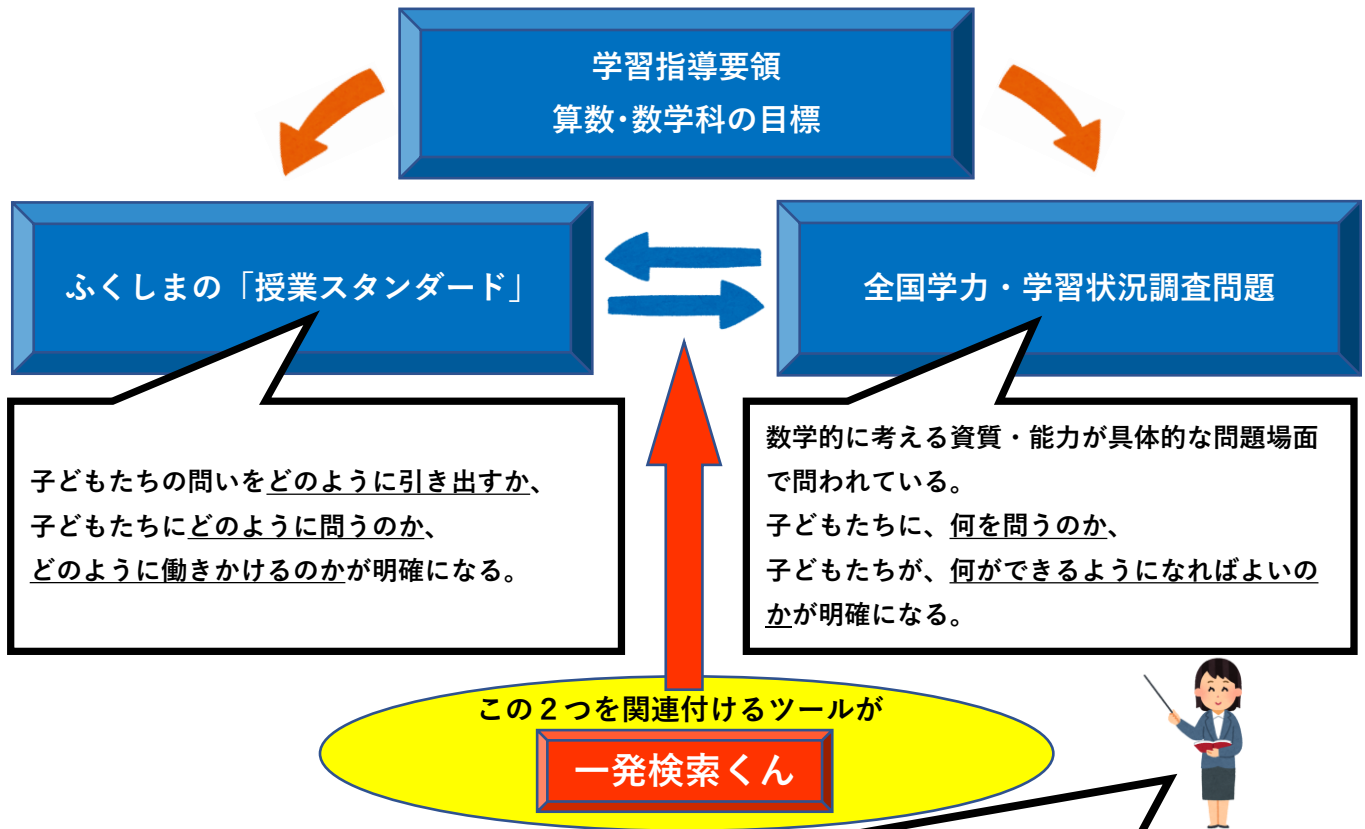
算数・数学科 授業改善のための
一発検索くん

学校教育課通信

令和3年1月12日(火)第162号
編集・発行：県南教育事務所 板橋 竜男

令和2年度版「算数・数学科 授業改善のための『一発検索くん』」(以下、「一発検索くん」)が完成しました。作成の意図、具体的な活用例を紹介します。

1 一発検索くんは、何のために・・・



全国学力・学習状況調査の問題や報告書(解説資料)を使いたいと思っても、何年分もの報告書(解説資料)を開いて、学年や単元に関する問題を見つけることは、なかなか容易ではありません。そこで、この「一発検索くん」を作成しました。

メニュー画面の各学年のボタンをクリックすると、見つけたい単元に関連する問題番号が表示されます。「問題」や「解説」をクリックするだけで問題や報告書(解説資料)が表示されます。もちろん、それを印刷して活用することができます。研究授業等の指導案作成のとき、単元末等の確認問題や定期テストを作成するときなど、効果的にお使いいただけたら幸いです。

使っている中で、その単元で身に付けるべき資質・能力は何か、どんな見方・考え方を働かせるのかが明確になってくると思います。

また、報告書(解説資料)には、「学習指導に当たって」という項目があり、主体的・対話的で深い学びのための指導のポイントが明示されています。なお、調査が中止となった令和2年度版では、10月に発行された「調査問題活用の参考資料」の内容(授業アイデア例を含む)が入っています。

ぜひ、日々の授業改善のために活用していただければと思います。

2 どんな使い方があのか . . .

(1) 年間指導計画に、授業アイデア例や「活用」に関する問題（旧B問題）を位置付ける。

- 単元内や単元末に授業アイデア例や「活用」に関する問題の流れに沿った授業を試みる。

「活用」に関する問題の記述式問題をやってみたけど、正答条件を満たしていない子どもたちの説明が多かったなあ。

授業のとき、子どもが説明不足の場面で、どんな問い返しをしたら、正答条件を満たす説明を引き出すことができるかな。

授業アイデア例の授業をまねてやってみたけど、アイデア例にあるような反応が返ってこないなあ。



自分自身の授業改善につながります。

- 単元末等の確認問題や定期テストを作成するときに活用する。

この単元は、理由を説明する力を育てる必要があるので、「活用」に関する問題の記述式の問題を参考に問題を作ってみました。

報告書（解説資料）を見ると、出題の意図や誤答例もあるので、作りやすかったです。

それに、「学習指導に当たって」を参考にすれば、授業でどんなことに気を付ければいいのかもわかり、授業に役立ちました。



「活用」に関する問題を参考にすれば、思考力・判断力・表現力を問う問題を作成しやすくなります。

年間指導計画に授業アイデア例や「活用」に関する問題を位置付けると、活用方法が広がります。

すべての年度の問題を位置付けるのは難しいと思われませんが、使ってみたい問題や記述式など課題のある問題を選択して位置付けることも一つの方法です。



(2) 基本的な内容の確認問題として使う。

- メニュー画面にある「単元別基本問題」（小学校のみ）、「学年別基本問題」（中学校は「単元別基本問題」を兼ねる）、「年度別基本問題」は、「知識」に関する問題（旧A問題）と解答が掲載されています。授業での適用問題、確認問題、テスト等で活用すれば、基本的な内容が身に付いているかどうか確認することができます。

3 最後に . . .

CD-ROMのままでも使用できますが、読み込みに時間がかかります。パソコンのハードディスクにコピーし、「メニュー画面」のショートカットを作成してデスクトップに置いておくと便利です。

※ 校内研修会や算数・数学部会で話題にいただけたら幸いです。